

News Release

ロンザ社、米カプスゲル社の買収を完了し、世界の医薬品および コンシューマーヘルスケア業界に向けて主要な統合ソリューション・プ ロバイダーを形成

2017年7月6日、バーゼル（スイス）

ロンザ社は本日、すべての必要な規制当局の承認を取得し、現金55億米ドルによるKKR社からのカプスゲル S.A.（以下「カプスゲル」）の買収を完了したことを発表いたしました。買収額には、カプスゲル社の既存債務約20億米ドルのリファイナンスが含まれます。カプスゲル社は、先進的な経口投与薬物送達技術における世界的リーダー企業であり、ハードカプセル技術はトップクラスです。買収完了後の最初の通期におけるロンザ社の1株当たりコア利益は、この買収により増加すると予想しています。

この度の買収は、既存製品を補完し、医薬品、コンシューマーヘルスケア、栄養補助食品業界で新しい市場機会を開拓することにより、ヘルスケア業界全体で成長を加速し価値を高めるというロンザ社の明確な戦略に沿ったものです。

カプスゲル社の買収により、ロンザ社には幅広いテクノロジーに裏付けされた信頼できるブランドが加わり、両社の医薬品開発製造受託機関（CDMO）事業と製品事業の基盤が拡大することが見込まれます。これは、患者や最終消費者との距離を縮めるというロンザ社の戦略的野心を推し進めるものでもあります。

ロンザ社の最高経営責任者である Richard Ridinger は、「ロンザ社とカプスゲル社の顧客基盤と市場アプローチは相乗効果が高く、ビジネスモデルには相互補完性があり、両社の社風は倫理とコンプライアンスに力を入れているという点でよく似ています。両社の統合はスムーズに進むでしょう」と述べています。

カプスゲル社の事業は、完全な統合が行われるまで、既存の体制での営業を継続します。

買収資金の一部には、2017年2月に完了した1株当たり173.00スイスフラン、総額8億6,500万スイスフランでの新株500万株の発行による純受取金が充当され、さらに、2017年5月に完了した総額22億6,000万スイスフランの全額払込済み登録株式1,654万8,612株の発行による純受取金も使用されました。買収費用の残額は、借入金によって賄われました。

ロンザ社について

カプスゲル社の買収を完了において、ロンザ社は、医薬品、バイオテクノロジーおよびスペシャリティケミカルの市場をリードする最も信頼されるグローバルサプライヤーの1社としての立場をさらに強化しました。高い科学技術力を利用して、より安全で健康な生活をサポートし、クオリティ・オブ・ライフを向上させるための製品やサービスを創出しています。

ヘルスケア業界全体に貢献する総合ソリューション・プロバイダーとして、ロンザ社は、医薬品原薬の受託開発・製造から革新的な剤型まで、医薬品、コンシューマーヘルスケア、栄養補助食品の各業界のために製品・サービスを提供しています。飲料水消毒剤、栄養補助食品、抗フケ剤、その他のパーソナルケア成分に加え、ロンザ社は、農業用製品、先進的コーティング剤・成分、危険なウイルス、細菌などの病原体と戦うための微生物管理ソリューションを提供しています。

ロンザ社は、1897年にスイスアルプス地域で設立されました。今日では世界に50を超える主要な製造・研究開発施設を持ち、約14,000人の社員を要する世界に誇るグローバル企業に成長しました。詳細は、www.lonza.com をご覧ください。

ロンザ社の追加情報および免責事項

ロンザグループは、スイスのバーゼルに本社を置き、スイス証券取引所に上場しています。また、シンガポール証券取引所（「SGX-ST」）に二部上場しています。ロンザグループには SGX-ST の継続上場条件の対象ではありませんが、引き続き SGX-ST 上場マニュアルの規則 217 および 751 の対象となります。

この発表には、「将来の予測に関する記述」、またはそれに見なされる記述が含まれる場合があります。これら将来の予測に関する記述は、「確信する」「見積もる」「計画する」「予想する」「見込む」「期待する」「意図する」「可能性がある」「だろう」または「はずである」などの用語、もしくはそれらの否定形やその他変形、類似用語などの将来を予測する用語の利用により、または戦略、計画、目標、目的、将来的事象もしくは意図に関する議論により識別することができます。

将来の予測に関する記述は、しばしば実際の結果と大きく異なる場合があります。将来の予測に関する記述は、将来的事象に関するロンザグループの現在の見解を反映しており、将来的事象に係るリスク、ならびにロンザグループの事業、業績、財務状況、流動性、見通し、成長または戦略に係るその他のリスク、不透明性、仮定の影響を受けるものであり、将来に関する記述は、作成日現在の見直しによるものです。

ロンザグループ、バンクオブアメリカ・メリルリンチ、UBS およびそれらの各関連会社は、新たな情報や将来の動向など、理由の如何を問わず、本発表に記載された将来の予測に関する記述を更新、見直し、または修正する義務または約束を明示的に拒否します。

免責事項

本発表は広告や目論見書ではなく、米国民に対する、またはこれら募集もしくは勧誘が法律違反である米国、カナダ、日本、オーストラリア内を含むいかなる管轄区域内における、証券の募集、または証券の購入提案の勧誘ではありません。本発表は、ロンザグループの証券の売却提案、または購入提案の勧誘ではなく、本発表もしくはその一部はいかなる契約または投資判断の基盤を成すものではなく、それに関連して依拠されるべきものではありません。

本発表の内容は、ロンザグループおよびカプスゲル社によって、両社単独の責任で作成されました。バンクオブアメリカ・メリルリンチ、UBS

またはその各取締役、役員、従業員、アドバイザーまたは代理人のいずれも、本発表もしくはその内容の利用から生じたものかそれに関連して生じたものかどうかを問わず、いかなる損失に対しても責任または債務を負わず、また書面、口頭、視覚もしくは電子媒体にかかわらず、またいかなる方法で送信されたか利用可能になったかを問わず、本発表の情報（または、情報が本発表から省略されているかどうか）、またはロンザグループ、またはその子会社もしくは関係会社に係るその他情報の信憑性、正確性または網羅性について、明示的、暗示的を問わず、なんら表明も保証もしません。

本発表に記載された情報は、取引背景の説明目的のみに供され、完全に網羅されたものではありません。何人も、本発表に記載された情報、またはその正確性、公正性もしくは網羅性に、いかなる目的であろうとも依拠することはできません。

本発表の配布は一部地域では法律によって制限される場合があります、本発表で参照されるいかなる書類またはその他情報の所有者は、これら制限について熟知し、これら制限を遵守しなければなりません。これら制限への遵守違反は、その管轄区域の証券法違反となる場合があります。

本発表において言及されている証券は、1933 年米国証券法およびその改定（以下「証券法」）に基づき登録されておらず、また今後も登録される予定はありません。これら証券は、登録または証券法に基づく登録の免除がない限り、米国内で募集または販売することはできません。米国において証券の公募を行う予定はありません。

本発表は、スイス債権法第 652a 条の意図する範囲における募集案内書ではなく、またスイス証券取引所の上場規則の意図する範囲における上場目論見書やその他適用法に基づく目論見書でもありません。

本発表は、本書で言及している証券の欧州経済領域（以下「EEA」）の加盟国内における、欧州連合 2003/71/EC 指令（以下「目論見書指令」）の意図する範囲における「証券の公募」には該当いたしません。本発表において言及する証券の EEA 内の人に対する募集は、EEA 加盟国において署名された、目論見書指令に基づく証券の募集に対する目論見書作成要件の例外に従って行われます。英国において本発表は、（1）2000 年金融サービス市

場法（金融商品の勧誘）2005 年命令およびその改定の第 19(5)条に該当する投資に関連する事項に専門的な経験を有する適格投資家、または（2）当該命令の第 49(2)条(A)～(D)に該当する適格投資家、および（3）本発表の伝達が合法であり、それに関連する投資活動がその者とのみ行われ、その者以外の何人によって依拠されない適格投資家に対してのみ配布されます。

Lonza Contact Details

Dirk Oehlers, Head Investor Relations

Lonza Group Ltd

Tel +41 61 316 8540

dirk.oehlers@lonza.com

Dominik Werner, Head Corporate Communications

Lonza Group Ltd

Tel +41 61 316 8798

dominik.werner@lonza.com

Constance Ward, Head External Communications

Lonza Group Ltd

Tel +41 61 316 8840

constance.ward@lonza.com